

# 知って！備えて！守りぬく！ みんなの防災会議

いざというとき、災害から自分や家族の命を守り、地域で互いに助け合って被害を軽減するためには、日頃から防災について話し合っておくことが大切です。みなさんもぜひ「防災会議」を開いて、地域の特性や家族の実情に即した防災対策を話し合っておきましょう。

## 地域の防災会議

参加した人／自治会長Aさん：女性、60代 自治会員Bさん：男性、70代（防災に詳しい）  
自治会員Cさん：男性、40代



大きな地震が起こったとき、自治会ではどのようなことをする必要  
があるかしら？

私たちは、3丁目自主防災隊として活動することになるね。



この地域の<sup>いっとき</sup>一時避難場所は、3丁目広場だから、そこに自治会の  
みんなが避難できているか確認する必要がありますね。

3丁目のDさん、足が不自由だし、心配だわ。



避難に手助けが必要な人は、事前に把握しておく必要があるね。  
(P23参照)

そうですね、事前に分かっていたら、3丁目広場に避難するときに、  
近所の人に声をかけてもらうようにお願いすることができますね。



そうだね。でも、地震が起こったときにあわてず行動するには、  
訓練をしておくことが大切だと思うよ。(P21参照)

じゃあ、今年の避難訓練は、自治会員の安否確認と3丁目広場への  
避難を中心に行うのはどうでしょう。



いいと思う。参考に、市が各地区の良い取り組み  
をまとめた「防災活動事例集」を見てみようか。

相模原 防災活動事例集 検索



そうしましょう。あと、災害が起こったとき、自治会のみんなで  
助け合うには、まずは自分の身をきちんと守れることも重要ね。

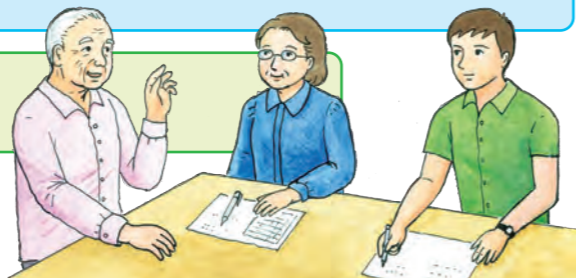


なるほど、一人一人が災害が起こったときの行動を考えておく  
ことが必要なんですね。

そうね。それぞれの行動を家族で共有しておくのも必要ね。



うちでも話し合っておきます！



## わが家の防災会議

参加した人／自治会員Cさんの家族全員 父(Cさん)、母、祖父、祖母、兄、妹



災害が起きたとき、一番大事なのは自分の身を守ることだよ。もしも大きな地震が起こった  
らどうすればいいか、防災ガイドブックを見ながらみんなで話し合っておこう。(P3・4参照)

近所で火災が起きたりしたら、わが家はどこに避難すればいいのかな？



自治会で決めた<sup>いっとき</sup>一時避難場所は3丁目広場だね。お隣りのおじさんにも声をかけて、  
みんなで一緒に避難しよう。(P2、5参照)

そのときには、非常用持ち出し品を忘れないようにね。そうそう、感染症対策グッズも入  
れておこうね。(P15参照)



ぼくのはもう準備してあるよ。  
ドッグフードやケージも忘れないようにしないと。(P22参照)

わたしも！でも、地震はいつ起こるか分からないから怖いよー。



そうね、お買い物で外に出ているかも知れないし…。連絡を取り合う方法を決めておき  
ましょう。

災害のときは電話やメールが繋がらない可能性があるから、災害用伝言ダイヤルなど  
の使い方を覚えておこうね。(P8参照)



地震もこわいけど、最近は大雨による洪水や土砂災害も心配だわ。

でも、風水害は地震と違って、災害が発生する前に避難すれば、命を守ることができる。  
避難のタイミングが大事なんだ。(P9～12参照)



そうか！この「マイ・タイムライン」でそのタイミングを決めておけばいいんだね。



そう、自分や家族がどのタイミングで  
何をするかを、あらかじめ決めておけ  
ば、いざというときあわてず行動で  
きるだろう。じゃあ、実際に作ってみ  
よう！(P33・34参照)

7月の防災週間、9月1日の防災の日や、台  
風シーズン前、生活環境が変わったときな  
ど、定期的にこれらの会議を行いましょう。

市の防災週間：毎年7月第1土曜日からはまる1週間